

令和5年3月17日（金）主権者教育講演会
兵庫県立有馬高等学校 生徒感想

●今回の講演会では、投票することによって、自分の意見が取り入れられるということを生徒が実際に体験するなど、わかりやすく説明してくださいました。また、今、様々な情報源をネットに頼る社会になりつつある中、新聞の大切さを改めて知ることができ、これからは、新聞を通して正しい情報を受入、政治に関心を持とうと思いました。そして、来年からは18歳になり、成人するとともに選挙権が与えられるので、政治や経済のことを新聞やニュースなどを見て、知識を取り入れたいと思いました。将来の日本を変えられるのは、今の政治家や大人たちだけでなく、若者である自分たちも変えられると思いました。

●私は今回の講演会を受けて、世論調査・出口調査の実際についてなど、選挙の仕組みについてより深く知ることができました。もうすぐ高校3年生で18歳となり、選挙に行くことができる年齢となります。もっと政治について興味を持ち、調べたり、情報を集める努力をしないといけないと感じました。ネットや人から聞くことは、正確なものかは判断することは難しいので、一つの記事から情報を取り入れるのではなく、複数調べて正確な情報をつかめるように意識しようと思いました。そして、自分の考えを持ち、より近い考えを持つ政治家に投票しようと思うことができました。たくさんの方が選挙に関われば国が大きく変わると思うので、今後、選挙に行こうと思える取組が進んでいくことが必要と思いました。

●本日の講演を聴くまでは、選挙には強い関心がなく、身近に思っていませんでしたが、投票しないと意見が届かないことをゲームなどを通して体験することができ、わかりやすく、選挙、投票の大切さを学ぶことができました。災害や戦争、コロナなどから目を背けず、自分事として捉えてより良く改善するために、政治に対し、自分なりの考えを持つようにしたいと思いました。18歳で投票ということは、私たちにも来年度から選挙権が与えられることになります。普段から新聞を読み、積極的に情報を入手しようと思います。今、ウクライナでは、多くの方が悲しみであふれていることと思いますが、私も募金活動などからできることに取り組んでいきたいと思いました。世界はつながっているけれど、心のつながりはうすいという言葉が印象に残って悲しくなりました。特にコロナ禍では、海外に行くことも来ることもなく、壁ができていたように感じていたので、これから「世界のつながり」を大切に、優しさを忘れず過ごしていけたら良いのではないかと思います。

●今日のNIE講演会で学んだことは2つあります。1つ目は、投票の大切さです。価値という点におくだけでも約205万円の価値があると聞いたときは、大変驚いたのを今でも印象深いです。僕たち一人一人の投票がコロナ禍やウクライナ戦争問題に繋がると思えば、おのずとその大切さは分かります。2つ目は、主権者に求められる力です。社会のあらゆる出来事を自ら考え、行動する力、これは、先ほど申し上げた投票にも繋がります。今度は若い世代の僕たちが、一人一人自らの考えを持ち、行動して、この世界を引っ張っていく番だということを認識しました。そのためには、今からでも政治に関心を持ち、仲間との会話でもそのような会話が生まれるような風景が望ましいです。今日学んだ事は、これからも忘れず、自分がすでに成人に近いのだということを自覚して、日々生活を送りたいと思います。

●今日の講演を聴いて、私たちのような若い世代が選挙に行くことの大切さがよく分かりました。政治に興味を持ち、政治家や争点について自分から積極的に調べて理解を深めていくことが大切だと思いました。政治や選挙の話の聞くとどうしても難しい内容だと思い込んでしまいがちだったのですが、ゲームを通して1票の大切さや若い世代が投票に行くことの大切さを簡単に理解することができました。また、いろんな情報を調べる上で新聞を活用するのが有効だと分かりました。特に選挙に関する情報は新聞の出口調査や世論調査などが重要だと分かりました。また、新聞などでいろんな情報に触れ、自分の興味がある分野や自分にとって必要な情報を取捨選択し、それらの情報を基に自分なりの意見を構築していくことが大切だと分かりました。これからは積極的に新聞を読み、有効活用していきたいと思いました。

●今回の講演を聴き、選挙における1票の大切さや重みを知りました。10代である自分が投票に参加し、自分の意見を反映させるとともに、投票の年齢層の幅を広げていきたいと思いました。一票で政治をより良くできるという気持ちで選挙に投票したいと思いました。

●本日の講演会では、たくさんの発見がありました。まず、私たち若者の選挙権についての認識や1人あたりにどれだけの価値があり、どれだけの影響力があるのかということを知りました。私が思う以上に、1人あたりの価値があって驚きました。若者の人口は少ないけれど全員で意思を表明すれば大きな力となり、政治を変えられるのだと思いました。次に新聞そのものについての役割や何を伝えているのかについて知ることができました。新聞で何が起きて誰がど

うなったかを世の中に発信することで「次」が起きないようにつなげたり、人々を守れるように対策ができるのだと思いました。「世界はつながっている」という言葉はその通りだと感じました。環境も情報も物資もすべてつながって成り立っているのだと改めて感じました。今回の講演は、「自分で考える」きっかけとなりました。今後、たくさんの情報を得て、学び、知識をつけて社会に貢献できるような人間に成長したいです。

●この講演会を通して学んだことは、主に自分の意思・意見を持つことの大切さだと思います。これは、選挙への投票、平和、防災などのすべてのことに言えることだと思います。来年から私も 18 歳になり、選挙権を得ることができるので、どの政党が良いのか、自分の意見に合っているのかを考えて、意思を持って投票したいと思います。その際には、自分の身近な所だけでなく、世界の未来も考えながら投票することが大切だと気づきました。まずは、自分が気になるところから新聞を読み、多くの知識や教養を身につけていきたいと思いました。

●私は、「18 歳になったら、選挙に行こう。」と前から考えていたけれど、「どの候補者に投票しよう。」については、あまり考えることができていませんでした。今日の講演会の中で、自分の興味・関心のある人に投票するといったお話があり、以前に比べて“選挙”を楽しみに感じられるようになりました。しかしながら、「争点とその争点を選んだ理由を書いてください。」と言われた時に、1 つも書くことができませんでした。その理由は、争点一覧を見た時に、それぞれの争点が今、どういう状況かわからなかったため、自分に合うようなものを見つけることができなかったからです。そこで、私は 18 歳までの残されたこの 1 年で私なりの争点を見つけることが選挙に向けての第一歩だと思いました。そして、このために、“ニュースや新聞を見ること”、そして、その中から、“自分の興味関心を見つけ、それを掘り下げ、現状・過去を調べること”が必要であると考えました。そして、今回の講演会の中で取り上げられた震災と戦争について、どちらも私たちの未来に関する重要なことであることがわかり、まずは 2 つについてより詳しく調べようと思いました。このほかにも、このたびの講演会で取り上げられたものについて深め、自分がどの候補者に投票するのかをじっくりと考えたいです。